

日本特別ニーズ教育学会 第 25 回研究大会 二次案内



若葉萌える好季節となりました。皆様におかれましてはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。第 25 回研究大会は、長崎大学が開催校をつとめさせていただきます。

プログラムや研究発表登録の詳細は、学会ウェブサイトにて随時お知らせいたします。

長崎大学文教キャンパスは、長崎市中心部からほど近いアクセスの良い場所に位置しています。長崎駅周辺にはホテル等がございますが、とりわけ長崎市内は観光客増によるホテル不足が生じていますので、お早めのご予約をお奨めいたします。万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願いよりお待ちしております。

2019年6月25日

日本特別ニーズ教育学会第 25 回研究大会（長崎大会）
大会実行委員長 平田 勝政（長崎ウエスレヤン大学）

日 時

前日プログラム：2019年10月18日（金）

研 究 大 会：2019年10月19日（土）・20日（日）

会 場

前日プログラム：長崎原爆資料館ホール
〒852-8117 長崎市平野町 7 番 8 号

JR 長崎駅から

路面電車

「赤迫(あかさこ)」行で「原爆資料館」電停下車、徒歩約 5 分

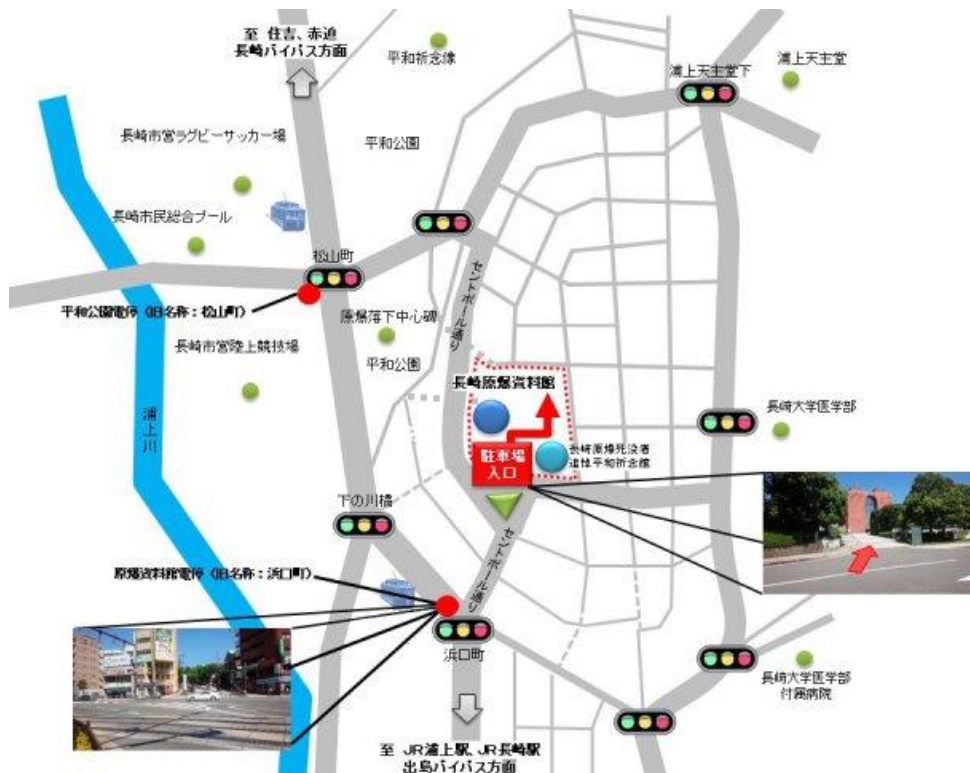
路線バス

滑石(なめし)・時津(とぎつ)・長与(ながよ)・女の都(めのと)方面行で「浜口町」バス停下車、徒歩約 5 分

長崎空港から

長崎空港リムジンバス

長崎駅前(浦上・住吉方面)行で「平和公園」バス停下車、徒歩約 5 分



研究大会：長崎大学 文教キャンパス 教育学部棟

JR 長崎駅から

路面電車 「長崎駅前」→(赤迫行き)→「長崎大学」下車

長崎バス 「長崎駅前」→(1番系統「溝川」,「上床」,「上横尾」行き)→「長崎大学前」下車

長崎空港から

県営バス「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「長大東門前」下車

*構内の駐車スペースには限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

なお、自家用車は原則として300円の入構料金が必要となります。

正門より入構し、守衛室にて所定の手続きを行ってください。

タクシーで来学された方は入構料が免除となりますので、そのまま入構できます。

大会スケジュール

| 日 時 | 内 容 | 会 場 | |
|-----------------|--|---|-------------|
| 18日 (金) | 前日企画 | | |
| | 13:30~ 16:30 | <p style="text-align: center;">「平和と特別ニーズ教育—長崎原爆から考える—」</p> <p>司会:平田 勝政 登壇予定:長崎県内の被爆障害当事者の方、ナガサキ・ユース代表団メンバー、他</p> <p>企画内容再調整中</p> <p style="text-align: center;">*参加者は事前申込のうえ、19・20日のうち1日以上ご参加ください。</p> | 長崎原爆資料館ホール |
| | 理 事 会 | | |
| 16:45~ 18:30 | 理事会 | | |
| 19日 (土) | 10:00 | 受付開始 | 教育学部棟1階 |
| | ラウンドテーブル／若手チャレンジ研究会 | | |
| | 10:30~ 12:00 | ラウンドテーブル／若手チャレンジ研究会 | 教育学部棟 |
| | 12:00~ 13:00 | 休憩 | |
| | SNE学会25周年記念シンポジウム | | |
| | 13:00~ 16:45 | 企画 学会理事・茨城大学教授 荒川智 学会理事・東京学芸大学准教授 村山拓 | 教育学部棟11番講義室 |
| | 懇 親 会 | | |
| 17:45~ 20:00 | 懇親会（寶來軒） *事前申込・事前支払制、会員/非会員を問わずご参加いただけます。 | 寶來軒 | |
| 20日 (日) | 9:00 | 受付開始 | 教育学部棟1階 |
| | 課題研究 | | |
| | 9:30~ 11:30 | <p style="text-align: center;">〔課題研究Ⅰ〕 貧困と特別ニーズ教育</p> <p>企画 学会理事・東京学芸大学教授 加瀬進 学会理事・北海道教育大学釧路校准教授 小野川文子</p> | 教育学部棟11番講義室 |
| | <p style="text-align: center;">〔課題研究Ⅱ〕 マイノリティの視点からみた特別ニーズ教育</p> <p>企画 学会理事・九州産業大学教授 猪狩恵美子</p> | 教育学部棟21番講義室 | |

| | | |
|----------------------|------------------------------------|---------------------|
| | 学会理事・札幌学院大学名誉教授 二通諭 | |
| 学会総会／学会奨励賞表彰式 | | |
| 11:40～ 13:00 | 学会総会 | 教育学部 棟11番講 義室 |
| | 学会奨励賞表彰式・受賞者講演 | 教育学部 棟11番講 義室 |
| 自由研究発表 | | |
| 13:10～ 14:40 | 自由研究発表 | 教育学部 棟 |
| | 卒論・修士論文・博士論文等デザイン検討会（演題受付中、非会員発表可） | 教育学部 棟 |
| 14:45～ 15:00 | クロージングセッション | 教育学部 棟11番講 義室 |
| 15:00 | 終了 | |

参加者へのご案内

1. 参加費・参加申し込み等

各自、郵便局にて送金の内訳など必要事項を「郵便振替用紙」に記入のうえ、諸費用を納入してください。納入された費用は、原則としてお返しできません。

事前申し込みは 10月4日（金）までに参加登録・振込をお願いいたします。

ただし、自由研究発表者、若手チャレンジ研究会発表者及びラウンドテーブル企画者の方は、9月8日（日）までにお振り込みください。

①2日間参加の場合（要旨集を含む）

| | |
|-------------|--------|
| 正会員 | 5,000円 |
| 院生会員 | 2,500円 |
| 臨時会員（一般） | 6,000円 |
| 臨時会員（院生・学生） | 3,000円 |

②1日間のみの参加（要旨集を含む）

| | |
|-------------|--------|
| 正会員 | 3,000円 |
| 院生会員 | 2,000円 |
| 臨時会員（一般） | 3,500円 |
| 臨時会員（院生・学生） | 2,000円 |

③要旨集のみ購入 1,000円

④懇親会費 5,000円

*当日申込の場合には、1,000円追加（要旨集、懇親会のぞく）になります。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行

口座番号:01710-1-171224

口座名称(カナ):SNE 学会第25回研究大会実行委員会

(エスエヌイーガツカイダイニジュウゴカイケンキュウタイ)

他行等から振り込む場合

店名(店番):一七九(イチナナキユウ)店(179)

預金種目: 当座 口座番号:0171224

2. 演題募集

◎自由研究発表

・特別ニーズ教育の原理・歴史、教育制度・政策・運動、内容・方法、実践、諸外国の動向などに関する個人研究・共同研究の発表を募集します。

◎若手チャレンジ研究会

・大学学部生・大学院修士課程学生・大学院博士課程学生を対象に、卒業論文・修士論文・博士論文等の研究デザイン(研究経過)に関する発表を募集いたします。

＊通常の研究発表は「自由研究発表」にお申し込みください。

◎ラウンドテーブル

・特別ニーズ教育の政策・実践、就労・移行支援、ニューカマー・不登校、教育相談など、今日的課題に関する報告・討議・情報交換の場の企画を募集します。

■発表・企画の申し込み、要旨集録の原稿提出

・発表・企画の申し込み締め切り: 2019年9月8日(日)23:00 ★延長しました。

・発表要旨集録の原稿の締め切り: 2019年9月8日(日)23:00

・学会ウェブサイトアクセスし、参加・発表申し込みフォームに必要事項を入力して下さい。

・自由研究発表の筆頭発表者、ラウンドテーブルの企画者は学会員に限ります。非会員で連名発表される方、論文デザイン検討会の発表者は、「臨時会員」としてのお申込みをお願いします。

・「発表要旨集原稿執筆作成要項」「発表要旨集原稿様式」は、学会ホームページから入手できます。

3. 受付

19日の受付は10:00より、20日の受付は9:00より行います。18日の詳細は別途お知らせいたします。

4. クローク

クロークは設置いたしますが、小さなお荷物は各自で管理をお願いいたします。

5. 学会関係諸会議

理事会・機関誌編集委員会 10月18日(金)16:45～

詳細は、後日学会事務局より連絡いたします。

6. 昼食

19日(土)は学食が営業しています。20日(日)は近隣のコンビニ・レストラン等をご利用ください。

7. 駐車場

キャンパス内の駐車スペースには限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。キャンパス近隣のコンビニ等への無断駐車は止めていただきますようお願いいたします。

8. 宿泊

JR 長崎駅周辺には宿泊施設がありますが、とくに長崎市内は旅行客の激増により宿の確保が難しくなっています。各自、お早めに予約状況を確認していただきますようお願い致します。

研究発表者・ラウンドテーブル登壇者へのご案内

- * 発表者・登壇者はセッション開始15分前までに参加受付をお済ませください。
- * 開始前に発表に関する諸注意等のご案内をいたします。
- * 研究発表者は研究会開始前にPC等の動作確認を行ってください。
- * 研究発表の発表時間は一演題ごとに発表15分、質疑5分です。
- * 会場ではプロジェクタの使用が可能です。パソコンを使用される場合はご持参ください。
- * 補足資料の配布が必要な場合は、事前に発表者が必要部数(40部程度、各自判断)を用意してください。当日、会場で印刷を行うことはできません。

シンポジウム、課題研究関係者へのご案内

- * 関係者は開始前に打ち合わせを行います。打ち合わせ時間と会場は追ってご案内いたします。
- * PCのご用意は各自でお願いしておりますが、ご事情があればご相談下さい。
- * 会場ではプロジェクタの使用が可能です。パソコンを使用される場合はご持参ください。
- * 事前にお送りいただく講演資料のうち配布可能なものは、要旨集に収録いたします。資料の提出締切は各シンポジウム担当者より別途ご案内いたします。当日、実行委員会及び会場で別途に配布・印刷を行うことはできませんのでご了承ください。

プログラム概要

【実行委員会企画：前日プログラム】

【理事会企画】

若手チャレンジ研究会／ 卒論・修士論文・博士論文等デザイン検討会

理事会企画として、中間集会「若手チャレンジ研究会」に続き、学部生や院生の会員の方を含め、研究活動を開始された特別ニーズ教育若手研究者向けの企画を実施します。

「実践研究論文の書き方を考える」 後藤 貴久（東京都立青鳥特別支援学校）

1. 自己紹介

経歴：筑波大学大学院 — 都立北特別支援学校(肢体) — 都立青鳥特別支援学校(知的)

障害児教育専攻 7年勤務(内3年進路専任担当) 進路指導担当

中学生の時から肢体不自由児の余暇活動のボランティアを行い、大学院にて障害児教育を学ぶ。教育実習中に指導教員に連れられて、実践報告を中心とする研究会に参加。たくさんの事例に触れたことで、現在教員として働く中で大いに役立っている。

2. 実践研究と現職の立場

研究→行政→現場 ではない

研究⇔現場⇔行政⇔研究の図が望ましい(3方向が相互関係にある状態)

現場からも実践をあげていく必要がある。

3. 教師の仕事や教育の目標について考える

教師の仕事の多さについて

教師の一番の仕事は何？

授業を行うときに必要なのは授業を受ける児童生徒の実態把握。

今日、様々な実態をもつ児童生徒に対応するために教師としてのより多くの知識・経験が求められている。→
自分の実践だけでは限界が・・・

教育の目標は何？→教育基本法 第1章 教育の目的及び理念

第1条(教育の目的) 第2条(教育の目標) 参照

特に特別支援教育は目標達成のための手段が非常に多岐にわたるため、一人では到底達成できない。

4. 現場の実践を考える

実践研究について(まとめる時間がない?まとめようとしていない?)

PDCA サイクル

授業実践の引き出しを増やす。

どのようにデザインするか

5. 事例(病弱 病院でずっと生活してきた生徒の進路指導)

事例から今後の指導の方向性についてどうするか議論できればと考えている。

★大会 2 日目(20 日)には「卒論・修士論文・博士論文等デザイン検討会」を開催します。参加いただいた会員の方々の意見を取り入れながら、若手研究者の交流の場を継続・拡充していきたいと考えています。ご参加をお待ちしています。

【理事会企画:25 周年記念シンポジウム】

企画

学会理事・茨城大学教授 荒川智 / 学会理事・東京学芸大学准教授 村山拓

【理事会企画:課題研究Ⅰ】

貧困と特別ニーズ教育

【企画趣旨】

貧困の世代間連鎖は保護者の経済的な貧しさが保護者の困りごとを引き起こし(低い自己評価、子育て上の不安、精神的余裕のなさ、孤立・排除、文化的経験の不足、不十分な衣食住、時間的余裕のなさ、健康状態の悪さ等)、それがさらに子どもの困りごとを引き起こすこととなり(低い自己評価、進路展望の制約、低学力・低学歴、孤立・排除、学習用品の不足、不十分な衣食住、虐待・ネグレクト、健康状態の悪さ)、結果として子どもの(将来の)経済的な貧しさを引き起こすというプロセスをたどる(伊藤 2019)。このプロセスのいずれかに、多様な角度から介入して貧困の連鎖を断つことが我が国の今日的課題であるが、特別ニーズ教育の文脈から見ると早期発見・早期介入という視点にたち、困りごとがどのような教育的ニーズとして立ち現れ、それに対してどのような教育実践を展開するか、という課題として受け止める必要がある。

以上の問題意識から、本セッションでは就学前段階における「貧困問題」を俯瞰するとともに、それを背景として小学校 1 年生段階で見えてくる教育的ニーズはどのようなものか、どのような教育実践が求められるのか、という二つの話題提供を得て、就学前段階から義務教育就学段階という移行期の問題解決について協議しようとするものである。

企画者/司会 加瀬 進 (東京学芸大学教育学部)

小野川文子 (北海道教育大学教育学部)

話題提供者 小西 悠馬 (長崎大学教育学部)

小野 學 (東京学芸大学児童・生徒支援連携センター)

指定討論者 松川 誠一 (東京学芸大学教育学部)

【理事会企画:課題研究Ⅱ】

企画

学会理事・九州産業大学教授 猪狩恵美子

学会理事・札幌学院大学名誉教授 二通諭

【実行委員会企画:懇親会】

懇親会

大会 1 日目 (19 日) の夜には、「寶來軒」にて懇親会を開催いたします。ご参加の皆様のご親睦を深めていただければ幸いです。参加ご希望の方には事前予約・事前振込をお願いいたします。原則としてキャンセルの払い戻しはできませんのでご了承ください。



会場：「寶來軒」〒852-8117 長崎県長崎市平野町 5 番 23 号 ※ 「原爆資料館」そば

交通：

路面電車：「長崎大学」から崇福寺行または蛍茶屋行に乗車、「原爆資料館」下車、徒歩 5 分

※大学からの送迎はご用意しておりませんのでご注意ください。

参加費：5000 円 前予約／事前支払(振込)制



日本特別ニーズ教育学会第25回研究大会(長崎大会)実行委員会

実行委員長 平田 勝政(長崎ウエスレヤン大学現代社会学部)

副委員長 鈴木 保巳(長崎大学教育学部)

事務局 石川 衣紀(長崎大学教育学部)

第25回研究大会に関するお問い合わせ先

◎実行委員会事務局

長崎大学教育学部 石川衣紀研究室

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL:095-819-2406(研究室直通)

メール taikai@sne-japan.net

*ご連絡はできる限りメールでお願いいたします。